

I 学校運営・総務

1. 川北小学校の沿革（概要）

明治	6年	3月	壱ツ屋村落小学校を設立する。（浄秀寺の家屋）
	6年	9月	土室村落小学校を設立する。（佐野弥三郎氏の家屋）
	9年	8月	壱ツ屋村落小学校を嘉誉小学校と改名する。（校舎新築） 土室村落小学校を練智小学校と改名する。
	17年	1月	嘉誉小学校は顕文小学校の分校となる。
		7月	練智小学校の校舎を新築する。
	18年	2月	高、中、初等小学校と定める。
		3月	嘉誉小学校、練智小学校と合併する。
		8月	練智小学校、土室小学校と改称する。
	19年	1月	壱ツ屋簡易科小学校を新設する。
	25年	4月	壱ツ屋尋常小学校を設置する。
	32年	4月	土室尋常小学校を設置する。
	33年	8月	義務教育四年制となる。
	40年	4月	義務教育八年制となる。
	41年	3月	壱ツ屋・土室尋常小学校は廃校となり、川北中尋常小学校と改称する。
		6月	新校舎が落成する。
	43年	4月	川北尋常高等小学校と改称する。
大正	13年	3月	創立50周年祭を行う。
昭和	16年	4月	川北国民学校と改称する。
	22年	4月	川北村立川北小学校と改称し、（6・3・3制施行）川北村立川北中学校を併設する。
	23年	12月	新築40周年記念式を挙げる。
	26年	10月	川北村立川北中学校を分離する。
	31年	1月	新校舎が落成する。
	32年	5月	屋内体育館が落成する。
	41年	7月	水泳プールが落成する。
	49年	3月	開校100年記念式典を挙げる。
	52年	3月	川北小学校防音校舎が落成する。
	55年	4月	町制施行にて、川北町立川北小学校となる。
	60年	3月	川北小学校講堂（第2体育館）が落成する。
平成	4年	7月	川北町水泳プール改築工事が落成する。
	7年	8月	川北小学校外装大規模改修工事が竣工する。
	8年	8月	川北小学校内装大規模改修工事が竣工する。
	14年	8月	グラウンド改修工事が完了する。
	16年	7月	防音整備事業の起丁式を行う。
	17年	2月	新增築棟（別館）が完成する。
	18年	10月	文部科学省研究指定「児童生徒の心に響く道徳教育推進事業」研究発表を行う。
	20年	12月	防音校舎（新館）増築・耐震補強事業（本館）が完成する。
	23年	10月	「道徳教育推進拠点校」（「人と地域を生かした道徳教育講座」）研究発表を行う。
	24年	11月	「生活科・総合的な学習」研究発表会
	27年	9月	非構造部材耐震化工事、空調設備復旧工事が完成する。
	27年	11月	県教育委員会指定「学びの組織的実践推進事業」拠点校公開授業を行う。
	28年	11月	県教育委員会指定「学びの組織的実践推進事業」拠点校・連携校研究発表会を行う。
	29年	11月	県教育委員会指定「学びの組織的実践推進事業」拠点校・連携校研究発表会を行う。
	30年	10月	県教育委員会指定「人と地域を生かした道徳講座」公開発表会を行う。
令和	元年	11月	県教育委員会指定「英語教育強化拠点地域事業」公開発表会を行う。
	2年	12月	G I G A スクール対応工事が完了する。1人1台のタブレット完備。
	2年	12月	川北小学校プール耐震補強工事が落成する。